

平成28年度

イノシシ管理事業実績報告書(県分)

平成29年8月

宮城県環境生活部自然保護課



平成28年度イノシシ管理事業実績(県分)

宮城県

H28計画	H28実績	評 価
<p>1. 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <p>イ 捕獲目標(県全体) <u>6,955頭</u>            ※イノシシ管理計画における年間捕獲努力目標:5,600頭以上</p> <p>・県事業(指定管理鳥獣捕獲等事業捕獲) <u>10頭</u></p> <p>・市町村事業(個体数調整及び有害鳥獣捕獲) <u>5,745頭</u></p> <p>・狩猟による捕獲:<u>1,200頭</u></p> <p>ロ 狩猟期間の延長(2月15日までを3月31日まで)にする。</p> <p>ハ 狩猟捕獲に対する支援            放射性物質の影響により狩猟捕獲頭数が減っていることから、狩猟捕獲に対する補助(1頭当たり5,000円)を行う。</p> <p>ニ 有害鳥獣捕獲及び個体数調整の資格緩和            地域ぐるみによる取組により、狩猟免許を有しない者の参加も含めて検討する。</p> <p>ホ 体制が整っていることを前提に、県北の重点区域市町村に個体数調整に係る捕獲許可の権限移譲を検討する。</p> <p>ヘ 有識者による被害防除(主に捕獲技術の向上)のための技術研修会を開催する。</p> <p>ト 鳥獣被害防止総合支援交付金等による捕獲わなの購入及び有害捕獲等経費、捕獲(狩猟、わな設置)に関する講習会の実施への補助(交付金等活用協議会 H28 20協議会)</p>	<p>1. 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <p>イ 捕獲実績(県全体) <u>8,330頭</u></p> <p>・県事業(指定管理鳥獣捕獲等事業捕獲) <u>18頭</u></p> <p>・市町村事業(個体数調整及び有害鳥獣捕獲) <u>6,562頭</u></p> <p>【参考】</p> <p>・狩猟による捕獲 <u>1,750頭</u>            捕獲合計 <u>8,330頭</u></p> <p>ロ 狩猟期間の延長(2月15日までを3月31日まで)にした。</p> <p>ニ 狩猟捕獲に対する支援            箱わな、くくりわな及び銃猟により、<u>1,052頭</u>の捕獲実績があった。</p> <p>ホ 有害鳥獣捕獲及び個体数調整の資格緩和            実施を検討している市町村に対し、情報提供等の支援を行った。</p> <p>ホ 大和町に権限を移譲した。</p> <p>ヘ ・H28.8.26 大崎合同庁舎において座学            生態及び被害対策について研修会開催            ・H28.11.14 大和町において座学及び現地実習            成獣の捕獲方法及びわな猟について研修会開催</p> <p>ト 鳥獣被害防止総合対策交付金により、19事業実施主体における有害捕獲やわな購入、研修会開催等を補助した。</p>	<p>【自然保護課】            狩猟延長期間内に<u>396頭</u>捕獲(狩猟全体の<u>22.6%</u>)</p> <p>引き続き狩猟捕獲に対する補助を行っていく。</p> <p>引き続き支援を実施する。</p> <p>引き続き移譲を検討する。</p> <p>【自然保護課・農産園芸環境課】            継続して実施する。</p> <p>【農産園芸環境課】            引き続き交付金の活用等について指導及び支援を行う。</p>

H28計画	H28実績	評 価
<p>(2)被害防除対策 農業被害額を1,800万円程度以下を目指す。</p> <p>イ 林床等の野外で栽培される特用林産物の被害防除対策等について情報提供を行う。</p> <p>ロ 有害鳥獣対策への地域的な取組支援</p> <p>普及指導員が地域的な有害鳥獣対策を支援するための被害軽減に係る知識の習得、向上に向けた研修会の開催と情報提供や助言を行う。</p> <p>ハ 鳥獣被害防止総合支援交付金等による侵入防止柵(電気柵, 金属柵等)の設置に対する補助及び設置講習会実施への補助</p> <p>ニ 集落ぐるみの対策モデル事業の実施など, 市町村における被害防止体制整備への支援, 指導</p>	<p>農業被害額:9,157万円 (H27:7,428万円)</p> <p>イ 県内各地に配置されている林業普及指導員等が, 普及活動を通じて, 被害防止技術の情報提供を行った。</p> <p>ロ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各普及センターに鳥獣害担当職員を配置。</li> <li>・研修会の開催(11/15, 13名参加) 電気柵の設置実習など鳥獣害対策についての知識の習得と意識の醸成を図った。</li> <li>・国段階の普及指導員研修の鳥獣被害防止対策支援研修を1名受講。職場研修等で情報の共有化等を図った。</li> <li>・集落ぐるみの鳥獣被害対策モデル事業実施地区を中心に対策の推進等を行った。</li> </ul> <p>ハ 鳥獣被害防止総合対策交付金により, 6事業実施主体における侵入防止柵設置を補助した。</p> <p>ニ 集落ぐるみの鳥獣被害対策モデル事業により, 県内4箇所での被害防止対策に関する勉強会を計9回開催した(新規地区:柴田町3回・色麻町・4回, フォローアップ:名取市1回, 角田市1回)。</p>	<p>【農産園芸環境課】</p> <p>【林業振興課】 生産者のニーズに応じて, 被害防除技術情報を適切に提供</p> <p>【農業振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して各普及センターに, 鳥獣被害対策担当を配置。</li> <li>・研修等を実施し, 鳥獣被害対策についての知識の習得を行う。</li> </ul> <p>【農産園芸環境課】 引き続き交付金の活用等について指導及び支援を行う。</p> <p>【農産園芸環境課】 引き続き集落ぐるみの対策を普及していく。</p>
<p>(3)生息地の適正管理</p> <p>イ 緩衝帯設置の推進 水稻の被害軽減のため, 水田周辺の除草作業や山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進する。</p> <p>ロ 人家や田畑などでイノシシによる被害が確認される地域においては, 補助事業の活用等により, イノシシの隠れ家となり得る農地周辺森林の整備に向けた取組を支援する。</p>	<p>イ 緩衝帯設置の推進 研修会により, 取組を推進した。</p> <p>ロ 国庫補助事業を活用した除伐等を実施し, イノシシの隠れ家となる未整備森林解消に向け支援した。</p>	<p>【農産園芸環境課】 引き続き, 地域における取組を推進する。</p> <p>【森林整備課】 引き続き, 未整備森林の解消に向け, 事業活用を働きかける。</p>

H28計画	H28実績	評 価
<p>(4)その他</p> <p>イ 事業を円滑に実施するため「鳥獣被害防止特措法」に基づき、市町村鳥獣被害防止計画の策定を支援する。 (計画作成済み市町村 イノシシ対象 24市町村)</p> <p>ロ 鳥獣被害アドバイザー職員を養成し、地域での対策検討・実施支援を行う。</p> <p>ハ 生態及び被害防止対策に関する資料を作成し、ホームページ等を通じて普及啓発を図る。</p>	<p>イ イノシシを対象鳥獣とする12市町について、計画の策定や変更を支援した。</p> <p>ロ 普及指導員2名を国の研修に派遣した。</p> <p>ハ 県ホームページに被害状況等関係資料を掲載し、普及啓発を図った。</p>	<p>【農産園芸環境課】 引き続き、計画の作成及び変更を支援する。</p> <p>【農産園芸環境課】 引き続き、農作物被害対策の指導を担う職員を育成し地域での対策を推進する。</p> <p>【農産園芸環境課】 引き続き、普及啓発を図る。</p>
<p>2. その他</p> <p>(1)調査研究 捕獲状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 狩猟及び有害鳥獣捕獲に係る「捕獲調書」により生息分布を把握する。</li> <li>・ 指定管理鳥獣捕獲等事業を活用した生息数等調査を実施する。</li> </ul> <p>(2)その他</p> <p>イ 放射性物質検査</p> <p>食用に供される野生鳥獣の肉について、放射性物質のモニタリング調査を行う。</p> <p>ロ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会イノシシ部会</p> <p>県及び該当市町の事業実施計画等について専門家による検証を行うとともに、部会に各市町の担当者をオブザーバーとして招き、各市町の抱える問題等への助言機会の確保を図る。</p> <p>ハ 圏域単位での広域連携会議及び被害獣種別の連携会議において、被害状況や防除策等の情報交換、研修会の開催、広域連携での対策を実施し、被害を防止する。</p>	<p>捕獲状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 狩猟及び有害鳥獣捕獲に係る「捕獲調書」により生息分布を把握した。</li> <li>・ 県北地域の生息状況調査を実施し、平成29年度の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画の参考とした。</li> </ul> <p>イ 放射性物質検査</p> <p>県内各地から検体を集め、株式会社理研分析センターで測定した。 イノシシ肉についてはH24.6.25付けで全県を対象に国から出荷制限指示を受けている。</p> <p>ロ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会イノシシ部会</p> <p>部会、検討評価委員会をそれぞれ2回開催し、県及び該当市町の事業実施計画等について検証を行うとともに、第二種特定鳥獣管理計画の策定を行った。</p> <p>地方振興事務所で連携会議及び研修会等を開催した。</p>	<p>【自然保護課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続実施する。</li> <li>・ 引続き指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画策定に必要な生息状況や被害状況の調査を実施する。</li> </ul> <p>【自然保護課】</p> <p>今後も継続して検査を行い、情報提供していく。</p> <p>【自然保護課】</p> <p>特定計画の実施状況を検討・評価するため、今後も継続していく。</p> <p>【農産園芸環境課】</p> <p>引き続き、連携会議等により広域的な被害対策を推進する。</p>

別添 1

基本評価シート  
様式

(宮城県環境生活部自然保護課)

## 基本評価シート（イノシシ）

### 1. 事業の基本情報

事業名（※1）	宮城県ニホンジカ・イノシシ生息状況等調査業務		
	宮城県指定管理鳥獣捕獲等事業（イノシシ）捕獲業務		
都道府県名	宮城県	担当者部・係名	自然保護課 野生生物保護班
担当者名	千葉	担当者連絡先	022-211-2673
捕獲実施事業者	一般社団法人宮城県猟友会 (認定を受けている)	予算額（※2）	17,600,000円
		予算額の内捕獲に要する経費（※3）	799,200円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

### ○平成28年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

#### 〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
15頭	18頭	120%

#### 〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
27,554頭（平成24年度末）	捕獲数5,600頭／年	14,300頭（平成35年度末）
狩猟捕獲数	許可捕獲(有害)	許可捕獲（個体数調整）
1,736頭	6,418頭	144頭

### ○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

平成23年度から平成26年度まで県北地域を対象に県による個体数調整を実施。

2. 平成 28 年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>記述欄： イノシシによる生活環境、農林業又は生態系に対する被害の動向、本県内におけるイノシシの捕獲数及び生息数の動向、生息数と被害の関連性等の観点から、第二種特定鳥獣管理計画の目標を達成するため必要に応じて、既存の個体群管理のための事業に加え、指定管理鳥獣捕獲等事業を実施する。</p> <p>※特定計画の中での指定管理鳥獣捕獲等事業の位置づけも記載する。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。</p> <p><input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<input type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。
実施期間	平成 29 年 1 月 1 日から平成 29 年 3 月 15 日まで (うち捕獲実施期間、平成 29 年 1 月 3 日から平成 29 年 3 月 5 日まで)
実施区域	大崎・栗原区域： 低密度地域のため、十分な捕獲等が行われていない。 ※1：実施区域の特徴も記入 ※2：事業計画の地図がある場合は、図面を添付
関係機関との協力	事業区域の市町村及び所轄の警察署に対し、業務の協力依頼を行った。
事業の捕獲目標	(120%達成) = (18 実績値) / (15 目標値)
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃                      <input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り                      <input type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input type="checkbox"/> モバイルカリング              <input type="checkbox"/> 夜間銃猟</p> <p><input type="checkbox"/> その他 (                                      )</p> <p>【わな猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> くくりわな                      <input type="checkbox"/> 箱わな                      <input type="checkbox"/> 囲いわな</p> <p><input type="checkbox"/> その他 (                                      )</p> <p>※1：各種猟法の定義は9ページ参照、※2：複数チェック可</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input type="checkbox"/> 個体の身体の一部(耳、尾など)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 写真(詳細を記載：                                      )</p> <p><input type="checkbox"/> その他 (                                      )</p> <p>※複数チェック可。</p>
捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。</p> <p>※複数チェック可</p>
環境への影響への配慮	<p>わなによる錯誤捕獲について</p> <p><input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。</p> <p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 (内容： くくりわなの輪の直径を12センチメートル以内とし、かつワイヤーの直径が4ミリメートル以上、締め付け防止金具及びよりもどしを設置)</p> <p><input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。</p> <p>鳥類の鉛中毒等について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。</p> <p><input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。</p>

	鉛製銃弾について <input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	安全管理規程を有しており、安全管理の体制は申し分ない。
捕獲従事者の体制	【雇用体制】 捕獲従事者数：        人 （内訳） 正規雇用者：        人、期間雇用者：        人        日当制：        人

### 3. 平成 28 年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

#### ○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点※	
【目標達成】	評価： 捕獲目標頭数に達することができた。
	改善点： 適切な目標頭数の設定を目指したい。
【実施期間】	評価： 捕獲目標頭数に達するための十分な実施期間を設定することができた。
	改善点： より効果的・効率的な捕獲実施期間の設定を目指したい。
【実施区域】	評価： 実施区域間で捕獲効率に差があった。
	改善点： イノシシの管理のために効果的な実施区域の設定を目指す必要がある。
【捕獲手法】	評価： 効率的な捕獲が進められた場所があった一方、捕獲手法によっては捕獲効率が低い場所もあった。
	改善点： 捕獲者の技量や捕獲場所のイノシシの生息状況を踏まえた効率的な捕獲手法の検討が必要である。
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評価： 十分な捕獲従事者を配置することができた。
	改善点： 引き続き適切な実施体制が整えられるよう指導する。
【個体処分】	評価： 適切に埋設等実施された。
	改善点： 引き続き適切な個体処分に努めるよう指導する。
【環境配慮】	評価： 特に外部からの問い合わせは無かった。
	改善点： 引き続き環境配慮に努めた事業実施を指導する。
【安全管理】	評価： 事故無く捕獲事業が実施できた。
	改善点： 引き続き無事故が続くように、事業者へ安全への配慮に努めるよう指導する。
3. その他の事項に関する評価及び改善点 特になし	
4. 全体評価 事故無く事業を遂行し、捕獲目標頭数に達することができた。引き続き安全管理・環境配慮に努め、イノシシの管理のためのより効果的・効率的な捕獲場所・捕獲手法の設定を目指したい。	

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

本事業の実施により、第二種特定鳥獣管理計画の捕獲頭数の目標に上積みすることができた。生息域拡大防止に寄与したと考えられる。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 ( )	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

	作成できる概況図（地図）※についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない

概況図を作成する 上での課題	
-------------------	--

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果 (必須となる記録項目)

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数<sup>※1</sup>: 148 人日

事前調査人日数概数<sup>※2</sup>: 不明 人日

出猟 (捕獲作業) 人日数: 148 人日

項目	平成28年 (事業年度の値)	平成27年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量 (銃猟) のべ人日数 (1日に複数のメッシュに出役 した場合はそれぞれ1日 とする)	152人日	人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟 (捕獲作業) 日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数<sup>※1</sup>: 319 人日

事前調査人日数概数<sup>※2</sup>: 不明 人日

出猟 (捕獲作業) 人日数: 319 人日

項目	平成28年 (事業年度の値)	平成27年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量 (わな猟) わなの稼働総数 (わな基×日数)	2,097基日	基日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟 (捕獲作業) 人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	平成28年 (事業年度の値)	平成27年 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	1頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②目撃数	26頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	0% (0頭/1頭)	% ( 頭/ 頭)	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	0% (0頭/1頭)		<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

平成28年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(銃器)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数 <sup>※1</sup>	CPUE <sup>※2</sup>	SPUE <sup>※3</sup>
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り	1頭	152人日	0.007頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	0.17頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ( )	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数／のべ人日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	平成28年 (事業年度の値)	平成27年 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	17頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	52.9% (9頭/17頭)	% ( 頭/ 頭)	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	52.9% (9頭/17頭)		<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

平成28年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(わな)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数 <sup>※1</sup>	CPUE <sup>※2</sup>
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	17頭	2,043基日	0.008頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 箱わな	0頭	54基日	0頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ( )	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUEは前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数: 不明 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数: 0個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

通しナンバーを捕獲個体の左側胴体にペンキ等で記入するか、又はホワイトボード・黒板等に記入し、捕獲個体とともに写真を撮ったもの。

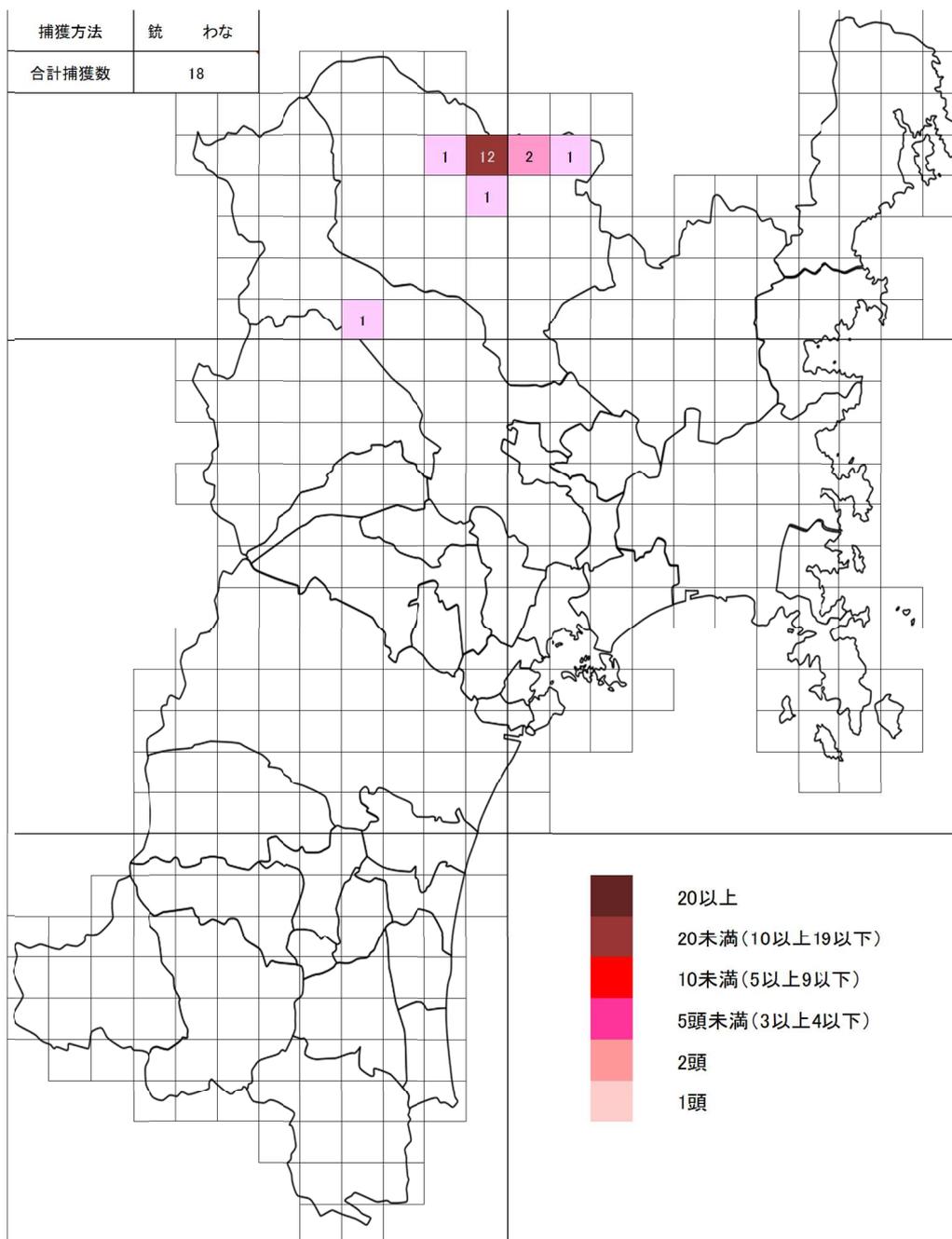
捕獲手法は、地域により様々なものが想定されることから、下記の定義は本評価シートでの暫定的なものです。

誘引狙撃	餌等により、対象種を誘引し、所定の位置から銃器により捕獲等する猟法。
巻き狩り	犬や勢子により追い出した対象種を、所定の位置で待機する射手が銃器で捕獲等する猟法。
忍び猟	単独の射手が徒歩で対象種を追跡して、射撃可能な地点で銃器により捕獲等する猟法。
車両を用いたモバイルカリング	所定の巡回ルートを車両で移動し、射撃可能な位置の対象種を銃器により捕獲等する猟法。
夜間銃猟	法律上必要な手続を全て完了した上で、日出前若しくは日没後において銃器を使用した鳥獣の捕獲等。

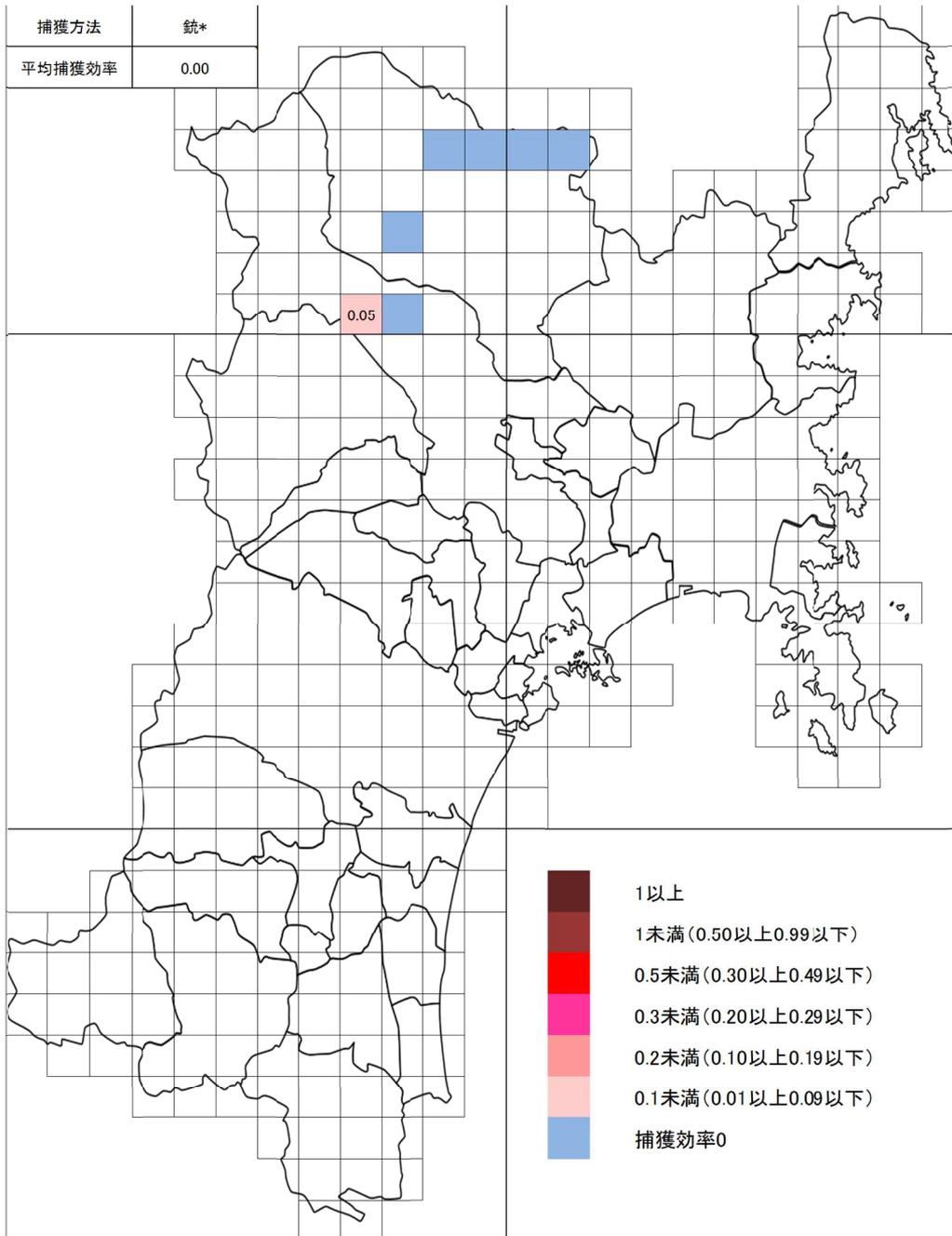
実施区域位置図



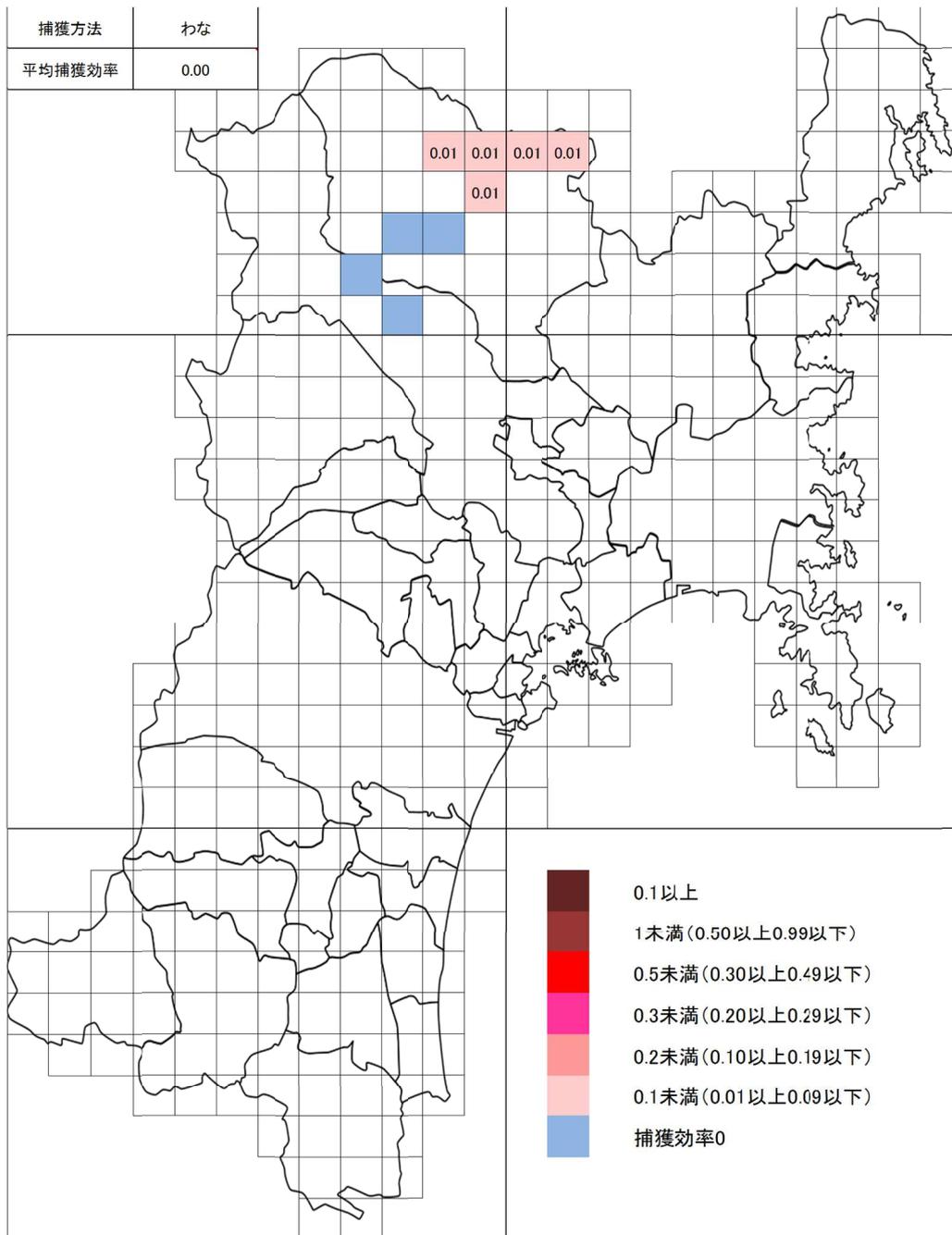
平成28年度指定管理鳥獣捕獲等事業捕獲（イノシシ）捕獲位置図



平成28年度指定管理鳥獣捕獲等事業捕獲（イノシシ）CPUE（銃）位置図



平成28年度指定管理鳥獣捕獲等事業捕獲（イノシシ）CPUE（わな）位置図



平成28年度指定管理鳥獣捕獲等事業捕獲（イノシシ）SPUE位置図

